



瀬戸小だより

ふれ合う 認め合う 共に学ぶ 笑顔あふれる瀬戸ヶ谷小学校

mail:y3setoga@edu.city.yokohama.jp http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/setogaya/

学校だより 8, 9月号
令和2年8月17日
横浜市立瀬戸ヶ谷小学校
校長 松永 淳子
TEL 713-8336 FAX 713-9749

瀬戸ヶ谷小学校

検索

彩り鮮やかな夏に

校長 松永 淳子

子どもたちの夏休みのスタートに合わせたかのように関東地方の梅雨があけました。日差しが肌に熱くあたり夏本番を感じました。子どもたちが育てている植物もこの休みの間に大きく育ち立派な花が咲き、実ができたことでしょう。校庭では、蝉がミンミンと元気よく鳴いていました。

夏休みというと、暑い、長い、宿題、水遊び、ラジオ体操、夏祭り、花火、お手伝いなどいろいろなことが連想されます。今年は、そんな夏休みとは少し違う形での休みを各ご家庭で過ごされたことでしょう。新型コロナウイルスの感染は止まらず、お盆の帰省や旅行についてもどうなるのかと世間ではニュースになっていました。また、2週間という過去に経験したことのない短い夏休みとなりましたので、子どもたちもやりたいことに焦点を合わせ、計画的に過ごさなければ何をしたのかわからないうちに休みが終わり、学校が始まってしまうということになってしまったのではないのでしょうか。

それでも、夏という季節はやってきて、朝顔やひまわりの花が咲き、私たちの心を潤わせてくれました。また、夏野菜の茄子や枝豆や西瓜は食卓を楽しませてくれました。夏は太陽の光を浴び、鮮やかな色が目に付きます。そして印象に残ります。花、野菜、果物も黄色、赤、緑、紫、濃紺など見ただけで心が躍りだします。真っ青な空のもと、子どもたちも大きく元気に育てほしいと願わずにはいられません。こんな時だからこそ、子どもたちに今年の夏の思い出を色鮮やかに残し、心豊かにたくましく成長できる年にしたいと誰もが願うのではないのでしょうか。

本日から、前期後半の学校生活が始まります。6月の学校再開から、子どもたちがこつこつと積み重ねてきた学習の成果である作品が、色鮮やかに、そして所狭く感じるほどに教室や廊下に掲示されています。子どもたちの頑張りが作品の一つひとつから感じられ、心の中まで見て取れるよううれしくなります。新しい生活様式を守りつつ、各学級では工夫をこらした学習が展開されています。間隔を開けることや給食時間は話をせず黙々と食べることなど、今まで通りの活動にはまだまだなっていませんが、それでも子どもたちは友だちと一緒に過ごせる時間を大切にしながら活動に取り組んでいます。子どもたちも柔軟なアイデアを出し合ったり人への優しい心遣いをしたりと、多くの場面で今まででは見ることのできなかつた細やかな配慮ができるようになってきています。これまでの積み重ねの上に更にたくしつかりとした幹を築き上げ、色鮮やかな花を思い切り咲かせられるよう教職員一同力を合わせていきたいと考えております。

残暑厳しい折ですが、健康に留意し安全で安心な学校生活が継続できるよう努めてまいります。今月も保護者や地域の皆様のご協力よろしくお願ひ申し上げます。